

んなところ INFORMATION

市の花・木・鳥

【花】シバザクラ、カタクリ、ヒマワリ
【木】カンワ、シイ
【鳥】オナガ

市章

ひらがなの「か・し・わ」の3文字をアレンジした図案です。

市立小・中学校数

【小学校】42校 【中学校】21校

人口

男214,850人 女219,091人 (令和3年3月1日)

面積

114.74 km²

ホームタウンチーム

◆柏レイソル(サッカー)
◆ENEOSサンフラー(女子バスケットボール)
ほか

柏市第五次総合計画

時代の変化による地域課題の解決や、それに伴って拡大する行政需要に対応しながら、将来にわたって魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。そのため柏市の10年後の未来を描き、進む方向を示す第五次総合計画を2016年に策定しました。

柏市が目指す将来都市像

未来へ続く先進住環境都市・柏

2016年 前期計画 | 2021年 | 2025年 後期計画

将来都市像を実現していくために まちづくりの重点目標

- 1 充実した教育が実現でき、子どもを安心して産み育てられるまちへ**
子育て支援、教育環境、安心して楽しめる
- 2 健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまちへ**
いきいき暮らし、健康寿命
- 3 地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまちへ**
柏の良イマージ、地域資源を活かす

柏市経営戦略方針

柏市第五次総合計画 後期基本計画

柏市経営戦略方針は、柏市を取り巻く環境がめまぐるしく変化する状況において、「柏市がめざましまち(将来都市像、重点目標)」を達成するために、今後5年間に必要な要素や進むべき方向性をまとめたものです。

詳しくはホームページへ！
柏市 後期基本計画

令和3年3月発行
発行:柏市 編集:柏市企画部経営戦略課
〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号
TEL:04-7167-1117 FAX:04-7167-1210

柏市のこれからのまちづくり計画

Future vision of Kashiwa city
柏市の未来計画進行中!

— 柏 市 —

柏市ってこ KASHIWA CITY

アクセス

都心や各連絡地点へスムーズに移動ができます。

JR常磐線	柏駅 ← 39分 → 東京駅	柏駅 ← 49分 → 品川駅
つくばエクスプレス	柏の葉キャンパス駅 ← 22分 → つくば駅	柏の葉キャンパス駅 ← 30分 → 秋葉原駅
高速道路	東京IC ← 約58分 → 柏IC	成田新空港IC ← 約90分 → 柏IC
	羽田空港中央IC ← 約70分 → 柏IC	幕張IC ← 約75分 → 柏IC

3 旧吉田家住宅

旧吉田家住宅は、名主であった吉田家の豪農ぶりが分かる江戸時代末期築造の国指定重要文化財です。25メートルにもおよぶ長大な長屋門から屋敷内に入ると、茅葺屋根の重厚な作りの主屋、格調の高い書院、コケに覆われた趣のある庭園や屋敷林があり、外の喧騒と一線を画した、時間が止まったようなやすらぎを味わうことができます。2004年、屋敷地と屋敷地前面の芝生地、斜面緑地の約2.2haが吉田家から柏市に遺贈後、整備を経て、公園となっています。

4 手賀沼

手賀沼は都心から最も近い天然の湖沼です。柏駅周辺の市街地から少し足を延ばせば、首都圏近郊でも貴重な自然環境が今でも残っています。手賀沼は古くから、周辺に広がる田んぼの水源として、また、うなぎやコイなどの豊かな漁場として地域の産業と生活を支えてきました。2000年までは、全国の湖沼でも水質ワーストの時期もありましたが、現在は水質浄化が進み、柏市の「新たな魅力」として、多くの市民にとっての「憩い場」として、親しまれています。

5 自然体験

豊かな自然と水辺環境が残る手賀沼周辺には、遊歩道や緑道が整備され、休日は散歩やサイクリングで楽しむことができます。もっと自然を満喫したい方には、ヨットやカヌー、SUPなどの水上アクティビティから、キャンプやBBQなどのアウトドアまで、充実した自然体験ができます。このほかにも、イチゴやブルーベリーなどの摘み取り園や、一年を通して“旬”の野菜を畑から収穫できる農業体験も充実しています。都心から気軽に来れる「柏市」で、様々な自然体験ができます。

1 柏の葉

2005年に開業したつくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」を中心としたまちで、駅周辺には、東京大学や千葉大学、国立がん研究センター東病院など様々な学術・研究機関が立地しています。地名の由来は、「県立柏の葉公園」から引用したもので、その公園名称は公募から選定されており、地名がすぐに理解される「柏」と千葉県の「葉」を含み、また「柏の葉」は“世継ぎ”を意味する縁起のよいもので、市民が呼びやすいなどの点から、「柏の葉」が選ばれました。2006年から、地域の活力と魅力の向上を担う「公」、専門知識や技術をもとに先進的な活動を担う「学」の各主体が連携したまちづくりを進めており、「公・民・学」連携を実践する組織及び拠点である柏の葉アーバンデザインセンターを中心に、柏の葉スマートシティなどの先進的な取組を進めているまちです。

2 柏駅前

柏駅は、1973年に「日本初のペDESTリアンデッキ(通称ダブルデッキ)」が整備されるとともに、東葛エリアにおける1日の平均乗車客数も1位を記録するなど、賑わいの拠点として発展してきました。さらに駅周辺には、国から「魅力的な商店街」に選出された柏二番街商店会や柏銀座通り商店会が立地するなど、魅力的・個性的なお店が立ち並んでおり、老若男女問わず多くの方が訪れています。





KASHIWA LIFE STYLE

子育て

子育てを地域で支え、子どもが心身ともに健やかに育つまちを目指します。

- 妊娠期から子育て期までの様々な状況に応じたきめ細かい相談・支援体制の充実を図ります。
- 保護者が孤立することなく、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、子育て仲間や地域社会とつながりやすい環境づくりを進めます。
- 多様なニーズに応じた質の高い幼児教育・保育の環境を整備します。
- 子どもの生命と権利を守るため、関係機関や地域の支援を最大限に活用した効果的な児童相談行政の実現を目指します。

実施している取組の一例



質の高い保育の実施

多様化・複雑化する保育ニーズや増大する保育需要に対応し、安心して子育てや仕事などができるよう、質の高い保育の環境づくりに取り組んでいます。



子育て・親育ちのための地域づくり

孤立化しやすい子育て期の不安や負担を軽減できるよう、身近な場所でのあそび場や支援者同士のつながる機会を提供し、子育てしやすい環境づくりに取り組んでいます。

学び

KASHIWA LIFE STYLE

学校と家庭、地域が連携・分担し、社会全体で子どもを育むまちを目指します。

- 生涯にわたり学び続ける基礎を身に付けられるよう、学校教育での学びの在り方や指導内容の充実を図ります。
- 健やかな体の育成と、互いに認め合い、多様性を尊重する豊かな心を育てます。
- 児童生徒1人ひとりが楽しく生き生きと学校に通える支援体制の充実を図ります。
- 生涯学習を通して、学びと活動の場づくりを進め、地域活動の担い手となる人材の育成に取り組めます。

実施している取組の一例



学ぶ意欲と学ぶ習慣を育む授業づくり

新しい教室の形を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業の推進や「分かった」「できた」が実感できる授業の実践に取り組んでいます。



学校生活を支える様々な人的支援

「理科教育支援員」や「学校図書館指導員」、「小学校外国語活動支援員」など、子どもたちの学校生活を支える様々な人を配置しています。



LEARNING

それぞれのライフスタイルにあった生活

あなたの住みたいが見つかるまち 柏



KASHIWA LIFE STYLE

セカンドライフ

人と人、人と社会がつながり支えあい、健やかで心豊かに生活できるまちを目指します。

- 各種データを活用・分析し、科学的根拠に基づいた効果的かつ効率的な予防・健康づくり事業に取り組めます。
- 幅広い分野と積極的に連携し、地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会を実現します。
- 地域完結型の在宅医療・介護サービスの向上を図ります。
- 地域のさまざまな相談を受け止め、自ら対応するまたは関係機関につなぐ支援体制を構築します。

実施している取組の一例



かしわフレイル予防ポイント制度 (WAONカード)

健康づくりやフレイル予防などの活動に参加することでポイントが貯まる「かしわフレイル予防ポイントカード」を発行し、楽しくお得な健康づくりを推進しています。



在宅医療の推進

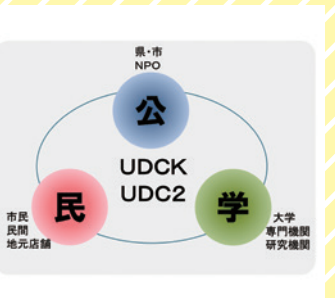
高齢や病氣などになっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、入院医療や外来医療、介護、福祉サービスと相互に補完しながら、日常生活を支えています。

実施している取組の一例



まちの賑わいづくり

都市拠点として様々な都市機能が集約している柏駅周辺では、魅力的な商店が集積し、賑わいや憩いの場を提供する社会実験などが行われています。



公・民・学連携のまちづくり

様々な立場で活動する個人や組織が、あらゆる場面で臨機応変につながり、協働してまちの課題解決に取り組む、公・民・学連携によるまちづくりを進めています。



SECOND LIFE

消防救急

- 大規模・特殊災害など、あらゆる災害に的確に対応する消防活動体制の強化を図ります。
- 救急搬送における到着時間の短縮に向けて、救急車の適正配置や医療機関との連携に取り組んでいます。

都市空間

- ライフスタイルと調和した快適な住環境を目指し、緑だけでなく、オープンスペースや空家の活用も応援する制度である「カシニワ」の取組を進めています。
- 「予防保全」の考え方に基く維持管理や計画的な整備など、都市空間を支える都市施設の強靱化に取り組んでいます。

音楽

- 素晴らしい演奏とパフォーマンスで数々の賞を受賞し、グローバルに活躍している市立柏高校吹奏楽部を筆頭に、「音楽の街」として多くのイベントが行われています。
- 「ストリートミュージシャンの聖地」で有名な柏駅周辺では、柏ルールのなかで様々な路上ライブ活動が行われています。

都市農業

- 全国でも有数の収穫量を誇る「かぶ」「ねぎ」「ほうれん草」をはじめ、市内では様々な野菜やお米が生産され、都市近郊のなかでも農業が盛んな地域として、市民の食を支えています。
- 市内には「道の駅しょうなん」をはじめ、直売所も多く、豊富な農産物を使った加工品なども生産され、地産地消が進んでいます。

公共交通

- 誰もがスムーズに、どこにでも、快適に移動できるよう、カシニワ（予約型相乗りタクシー）・かしわ乗合ジャンボタクシーなどの公共交通が充実しています。
- 自動運転バスによる新しい公共交通手段の活用に向け取り組んでいます。

保健衛生

- 保健、医療、福祉サービスを推進するため、保健所、夜間急病診療所、こども発達センター及び地域生活支援センターなどの複合拠点施設（ウェルネス柏）を設置しています。
- 県内に2市しかない中核市として保健所を設置し、感染症などの様々な健康被害に対応できる体制の強化を図っています。

地域活動

- 市民や市内防犯団体、警察等の連携による防犯活動により、地域防犯力の向上に努めています。
- 消費者トラブルを未然に防ぎ、正しい知識と対処法を習得するため「消費生活コーディネーター」や「消費生活サポーター」が地域の方々と連携し活動しています。

共生社会

- 市民が集い、活動し、交流する市民活動のプラットフォームとして、多目的に使える会議室やオープンスペースなどを備えた「パレット柏」を開設しています。
- 市民や地域を構成する様々な主体が相互理解を深め、地域課題を共有する場を創ることで、協働のまちづくりを進めています。